

## 製品安全データシート

### 製造者情報

会 社：柳瀬株式会社  
住 所：兵庫県丹波市山南町谷川1385番地  
電話番号：0795（77）2151 FAX番号：0795（77）2535  
作成・改訂：平成21年2月2日 整理番号：MSDS-X009

製品番号 YHK-50

| 製品名（化学名・商品名等） 液体研磨剤 サビ取り・汚れ落し用 |                     |               |
|--------------------------------|---------------------|---------------|
| 物質の特定                          | 単一製品・混合物の区別         | 混合物 リキッド状     |
|                                | 化 学 名               | 珪石粉（シリカ）      |
|                                | 成 分                 | 含有量           |
|                                | 珪石粉（シリカ）            | 43%           |
|                                | 脂肪酸                 | 13%           |
|                                | 界面活性剤・鉱物性油脂         | 4%            |
|                                | イオン交換水              | 40%           |
|                                | 構造式                 | 非公開           |
| 官報公示整理番号                       |                     |               |
| 化審法                            | 珪石粉（シリカ）            | (1)-548       |
|                                | 脂肪酸・活性剤             | 非公開           |
| 化学物質管理促進法<br>(P T R T法)        | 第一種指定化学物質           | 該当しない         |
|                                | 第二種指定化学物質           | 該当しない         |
| C A S 番号                       | 珪石粉（シリカ）            | No.14808-60-7 |
|                                | 脂肪酸                 | 非公開           |
|                                | 活性剤                 | 非公開           |
|                                | イオン交換水              | 7732-18-5     |
| 国連分類及び国連番号                     | 分類基準に該当しない。         |               |
|                                | 国連分類の定義上、危険物に該当しない。 |               |

|             |             |  |
|-------------|-------------|--|
| 危険有害性の分類    | 分類名称        | 分類基準に該当しない   |
|             | 危険性         | 消防法上、可燃性固体類に該当する物質を 14.5%含有する。   |
|             | 有害性         | 研磨時に発生する研磨粉塵を大量に吸入すると、じん肺になることがある。   |
|             | 環境影響        | 水中の環境に対し、悪影響を与える可能性がある。  |
|             | 物理的及び化学的危険性 | マグネシウムやアルミニウムを研磨した場合は、粉塵が水と反応して水素を発生し、空気と混合して発火することがある。  |
| 応急処置        | 目に入った場合     | 目をこすったりしない。柔らかい布又は紙で異物を取り除き、その後水で洗眼し、必要な場合は医師の診断を受ける。  |
|             | 皮膚に付着した場合   | 石鹼で洗う。   |
|             | 吸入した場合      | 新鮮な空気の場所に移動させ、安静にさせる。必要な場合は医師の診断を受ける。  |
|             | 飲み込んだ場合     | 口中をすすぐ。大量の場合は吐き出させ、必要な場合は医師の診断を受ける。  |
| 火災時の措置      | 消火方法        | 火元への燃焼源を断ち、風上から消火剤を火元へ放射する。直接の注水は飛沫する恐れがあるので注意する。  |
|             | 消火剤         | 粉末・炭酸ガス・泡・砂・大量の水など   |
| 露出時の措置      | 少量の場合       | 火気がある場合はすみやかに取り除き、引火を防ぐ。ウエスで拭き取る。又は掃き集めて回収する。  |
|             | 多量の場合       | 河川や湖沼などへ排出されないように注意し、保護具を着用し回収する。  |
| 取扱い及び保管上の注意 | 取扱い         | 炎・火花もしくは高温体との接近を避ける。労働安全衛生法第 577 条にあるように、法は粉塵を発散する作業場を有害な作業場と認識し、粉塵の発生抑制のための作業の方法または機械の改善等必要な処置を講じることを事業者に原則的に義務付けている。                       |
|             | 保管          | 火気・熱源より遠ざけるとともに直射日光を避けて保管する。水漏れ、破損せぬように注意する。強酸性物質、強アルカリ物質から離して保管する。  |
| 暴露防止措置      | 許容濃度        | シリカ：日本産業衛生学会<br>吸入性粉塵 0.13mg/m <sup>3</sup><br>総粉塵 0.52 mg/m <sup>3</sup><br>ACGIH 米国産業衛生監督官会議勧告(1996 年度版)<br>TLV-TWA 0.1mg / m <sup>3</sup> |

|                              |                       |   |
|------------------------------|-----------------------|---|
|                              | 設備対策                  | 粉塵の発生がある時、又は加熱使用時には作業場の空気を汚染しないように局所排気装置、密閉化、または全体換気を適正に行うことが必要である。 |
|                              | 保護具                   | 通常の作業では不要であるが、必要な場合は次の物の着用が好ましい。                                    |
|                              | 呼吸用保護具                | 防塵マスク・布マスク  |
|                              | 保護眼鏡                  | ゴーグル型が好ましい  |
|                              | 保護手袋                  | ゴム手袋・軍手   |
|                              | 保護衣                   | ゴム前掛・布前掛  |
|                              | 外観等                   | ペースト  |
| 物理 / 化学的性質                   | 臭い                    | 無臭  |
|                              | pH                    | 中性  |
|                              | 溶解性                   | 水に可溶  |
|                              | 引火点                   | 該当しない   |
| 危険性情報                        | 可燃性                   | 消防法：可燃性固体類  |
|                              | 発火性<br>(自然発火性、水との反応性) | なし  |
|                              | 酸化性                   | なし  |
|                              | 自己反応性・爆発性             | なし  |
|                              | 粉塵爆発性                 | なし  |
|                              | 皮膚腐食性                 | なし  |
| 有害性情報<br>(人についての症例、疫学的情報を含む) | 刺激性(皮膚・眼)             | 高濃度の粉塵で目の粘膜に刺激性がある。   |
|                              |                       | 高濃度の粉塵を吸入すると、上部気道に刺激性がある。<br>肌あれが生じることがある。                          |
|                              | 急性毒性                  | 脂肪酸 LD <sub>50</sub> > 4649mg / kg<br>(オカヒカン酸マウス腹腔内投与)              |
|                              | 亜急性毒性                 | データなし   |
| 有害性情報                        | 慢性毒性                  | なし  |
|                              | がん発生                  | データなし   |
|                              | 生殖毒性                  | データなし   |
|                              | 催奇形性                  | データなし   |
| 環境影響情報                       | 分解性                   | データなし   |
|                              | 蓄積性                   | データなし   |
|                              | 魚毒性                   | データなし   |
|                              | その他                   |   |

|          |  |
|----------|--|
| 廃棄上の注意   | 水質汚濁法の排水基準(生活環境項目)に許容濃度が定められており、廃棄物の処理および清掃に関する法律の産業廃棄物に相当し、これらの関係法令を遵守する必要がある。<br>使用済容器は、産業廃棄物業者に処分を委託する。   |
| 輸送上の注意   | 取扱い及び保管上の注意の項の記載によるほか、一般的な注意事項による。 使用容器はダンボール箱、金属缶、ポリ容器等を使用する。<br>輸送及び運搬は輸送中にお互いに衝突して破損する事のないように、しっかり固定した状態で行う。 容器は水漏れ・破損・投げたりしないように注意する。 消防法可燃性固体類に該当するため火気厳禁とする。 |
| 記載内容の取扱い | 記載内容は現時点での入手できる資料・情報・データに基いて作成しておりますが、含有量、物質化学的性質、危険・有害性等に関しては、いかなる保証をなすものではありません。 また、注意事項は通常の取扱いを対象にしたものなので、特殊な取扱いの場合は、用途・用法に適した安全対策を実施の上、ご利用下さい。                 |

以 上